

平成30年度（第47回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました

1 平成30年度川崎市文化賞等について

- (1) 川崎市文化賞
 - 法政大学第二高等学校物理部 (教育)
 - 三輪 修三 (学術)
- (2) 川崎市社会功労賞
 - 嶋 元 (保健衛生)
- (3) 川崎市スポーツ賞
 - 法政大学第二高等学校ハンドボール部 (スポーツ実践)
- (4) 川崎市アゼリア輝（かがやき）賞
 - 大間々 昂 (芸術)
 - 特定非営利活動法人カワサキミュージックキャスト (文化活動)

2 平成30年度川崎市文化賞等贈呈式・祝賀会

- (1) 日 時 平成30年11月2日（金）14：00～16：00
- (2) 場 所 川崎市国際交流センター

※後日改めてお知らせいたします。

(問い合わせ先)
川崎市市民文化局
市民文化振興室文化芸術支援担当
電話 044-200-2280

<目次>

(ページ)

1	平成30年度川崎市文化賞等受賞者一覧	1
2	受賞者のプロフィール・略歴（敬称略）	
	(1) 川崎市文化賞受賞者	
	・法政大学第二高等学校物理部	2
	・三輪 修三	4
	(2) 川崎市社会功労賞受賞者	
	・嶋 元	6
	(3) 川崎市スポーツ賞	
	・法政大学第二高等学校ハンドボール部	8
	(4) 川崎市アゼリア輝（かがやき）賞	
	・大間々 昂	10
	・特定非営利活動法人カワサキミュージックキャスト	12
3	平成30年度川崎市文化賞等選考委員	14
4	贈呈式	15
	(参考)	
1	川崎市文化賞等実施要綱	16
2	これまでに受賞された方々	20
3	川崎市文化賞等の経過について	23

平成30年度川崎市文化賞等受賞者一覧

(平成30年9月18日現在)

賞	区分	氏名	年齢 ・ 年数	功績分野	住所
文化賞	団体	ほうせいだいがくだいにこうとうがっこうぶつりぶ 法政大学第二高等学校物理部	50	教育	川崎市中原区
	個人	みわ しゅうぞう 三輪 修三	79	学術	川崎市多摩区
社会功労賞	個人	しま はじめ 嶋 元	65	保健衛生	川崎市麻生区
スポーツ賞	団体	ほうせいだいがくだいにこうとうがっこう 法政大学第二高等学校 ほんどぼーるぶ ハンドボール部	68	スポーツ実 践	川崎市中原区
アゼリア輝 賞	個人	おおままだかし 大間々 昂	30	芸術	東京都
	団体	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 かわさきみゅーじっくきゃすと カワサキミュージックキャスト	10	文化活動	川崎市中原区

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

ほうせいだいがくだいにこうとうがっこうぶつりぶ 法政大学第二高等学校物理部

～現場に根差した、課題解決の実践知～

昭和43年に創設され、平成30年に創設50周年を迎えました。

JAXA（宇宙航空研究開発機構）などがバックアップしている「缶サット甲子園」に、8度の全国大会出場を果たされています。缶サット甲子園は、高校生が自作した缶サット（空き缶サイズの模擬人工衛星）を打上げ、生徒自らが問題意識をもって設定したミッションを遂行する中、達成に向けて生徒達が主体的に取り組む過程が評価される大会です。これまでに2度の準優勝、3度の優勝という成績を残され、優勝された年には国際大会に出場されています。



略 歴	
団 体 名	法政大学 第二高等学校 物理部
所 在 地	川崎市中原区
設 立 年	昭和43年
代 表 者	【学校長】北詰昌敬 【顧問】上山勉
昭和43年	法政大学 第二中・高等学校 物理部 創設
平成21年	缶サット甲子園 全国大会出場
平成22年	缶サット甲子園 全国大会出場
平成23年	缶サット甲子園 全国大会出場
平成24年	缶サット甲子園 全国大会出場 準優勝
平成25年	缶サット甲子園 全国大会出場 準優勝
平成26年	缶サット甲子園 全国大会出場 優勝
平成28年	缶サット甲子園 全国大会出場 優勝
平成29年	缶サット甲子園 全国大会出場 優勝
【推薦者】 法政大学 第二中・高等学校	

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

み わ しゅうぞう
三輪 修三

～川崎の歴史を生き生きと～

市教育委員会の学芸員として川崎の郷土史に触れて以来、40年以上にわたり研究を続けていらっっしゃいます。市民ミュージアム学芸員や日本民家園学芸員・園長時代から川崎市の郷土史に関する著書を出版するとともに、退職後も、かわさき市民アカデミーや市内外の大学などで講師を務められ、長きにわたり川崎の郷土史を市民に伝えてこられました。退職後も執筆活動を続けられ、これまでに出版された著書には専門書はもちろんのこと、誰にでもわかりやすく解説された著書では、その時代の背景や人々の暮らしのエピソードを、読者に迫体験してもらえるよう生き生きと描いていらっっしゃいます。



略		歴
氏名	三輪 修三 様 (79歳)	
住所	川崎市多摩区	
川崎市における 在住年数	46年	
職業	郷土史家、評論家	
昭和47年	川崎市教育委員会学芸員	
平成4年	川崎市立日本民家園学芸員・同園長 (～平成11年)	
平成5年	かわさき市民アカデミー 講師 (平成26～28年 かわさき市民アカデミー川崎学コーディネーター)	
平成11年	川崎市文化財団歴史ガイドパネル委員 (～平成30年)	
平成12年	東京都立大学非常勤講師 (～平成17年) 川崎市立看護短期大学非常勤講師 (～平成22年)	
【推薦者】 多摩川新聞社		

川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

しま はじめ
嶋 元

～安全、安心、安定した医薬品供給を目指して～

理事、副会長を経て平成25年4月に川崎市薬剤師会会長に就任。薬剤師会の更なる活性化と地域医療に貢献するため、公益社団から一般社団移行への処理について、陣頭指揮をとられました。その他、「電子お薬手帳」の試験サービスを行うなど、お薬手帳の普及・促進を通し、利用者の健康保持・健康増進に貢献されています。

また、学校薬剤師として、小・中・高等学校生を対象とした薬物乱用防止教室を開催するなど、薬の正しい知識の普及に務めています。



略 歴	
氏 名	嶋 元 様 (65歳)
住 所	川崎市麻生区
川崎市における 在住年数	49年
職 業	薬剤師
	昭和55年 しま薬局 開局 昭和63年 川崎市薬剤師会 理事就任 (～平成12年) 平成10年 神奈川県薬剤師会 理事就任 (～平成16年) 平成12年 川崎市薬剤師会 副会長就任 (～平成25年) 平成16年 神奈川県薬剤師会 常務理事就任 (～平成18年) 平成18年 神奈川県薬剤師会 副会長就任 (～平成23年) 平成25年 川崎市薬剤師会 会長就任 神奈川県薬剤師会 理事就任
【推薦者】 公益社団法人川崎市医師会 公益社団法人川崎市病院協会 公益社団法人川崎市歯科医師会 公益社団法人川崎市看護協会	

川崎市スポーツ賞受賞者のプロフィール

ほうせいだいがくだいにこうとうがっこうは ん ど ぼ ー る ぶ 法政大学第二高等学校ハンドボール部

～「ALIVE」「挑戦」をスローガンに～

昭和25年に創設され、昭和46年に全国高等学校総合体育大会初出場、平成12年に全国高等学校選抜大会初出場されて以降、これまでにインターハイ20回出場、全国選抜18回出場という成績を残され、強豪校として歩まれてきました。

平成29年には第40回全国高等学校選抜大会・平成29年度全国高等学校総合体育大会・第72回国民体育大会のハンドボール競技において3大会優勝の偉業を達成されました。



略 歴	
団 体 名	法政大学 第二高等学校 ハンドボール部
所 在 地	川崎市中原区
設 立 年	昭和25年
代 表 者	【学校長】北詰昌敬 【監督】竹田愛也佳
昭和25年	法政大学 第二高等学校 ハンドボール部 創設
平成29年	第40回全国高等学校選抜大会 優勝 (兵庫) 第68回全国高等学校総合体育大会 優勝 (福島) 第72回国民体育大会ハンドボール競技少年の部 優勝(愛媛)
平成30年	第69回全国高等学校総合体育大会 ベスト8(三重)
	その他過去の実績 全国高等学校選抜大会 準優勝1回 3位…4回 全国高等学校総合体育大会 準優勝…2回 3位…3回
【推薦者】	法政大学 第二中・高等学校 公益財団法人 川崎市スポーツ協会

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

おおま ま たかし
大間々 昂

～映画音楽からドラマ・アニメの主題歌・挿入歌まで～

平成19年に洗足学園音楽大学に入学され、卒業までの4年間は主に高津区を拠点に活動されました。在学中には、近隣の音楽大学から有志を募り、100人規模のオーケストラを結成。コンサートやレコーディングで好評を博されました。大学時代の経験を活かし、現在は作曲家として映像音楽を中心に活動されています。最近では平成29年公開の映画「彼女がその名を知らない鳥たち」、平成30年にはドラマ「花のち晴れ」といった話題作の音楽を手がけられるなど、今後の更なる活躍が期待されます。



略 歴	
氏 名	大間々 昂 様 (30歳)
住 所	東京都
川崎市における 在住年数	なし
職 業	作曲家・編曲家
平成19年	洗足学園音楽大学音楽・音響デザインコース入学
平成29年	映画「愚行録」音楽担当 映画「彼女がその名を知らない鳥たち」音楽担当 アニメ「機動戦士ガンダム Twilight AXIS」音楽担当
平成30年	TBS系ドラマ「花のち晴れ」音楽担当 NHKスペシャル「人類誕生」音楽担当
【推薦者】 洗足学園音楽大学	

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

とくていひえいりかつどうほうじんかわさきみゅーじっくきゃすと
特定非営利活動法人カワサキミュージックキャスト

～「音楽のまち・かわさき」で生まれた音楽NPO～

本市の「音楽のまちづくり」に共感され、平成20年に、川崎市内の音楽環境の拡充と芸術文化の振興を目的にNPO法人として創設されました。本市を拠点として、公民及び大小を問わず数多くの音楽イベントの開催に関わり、ステージ運営やアーティストのコーディネートなど高い専門性を持った活動を行いながら、イベントの公益性や地域での必要性を重視し、時には無償協力をするなど、地域から多大な信頼を得ていらっしゃいます。近年では、アーティストへの活動場所・機会の提供や、地元アーティストの育成など、音楽を介した地域社会づくりに貢献されています。



略 歴	
団 体 名	特定非営利活動法人 カワサキミュージックキャスト
所 在 地	川崎市中原区
設 立 年	平成20年
代 表 者	反町充宏
平成20年	特定非営利活動法人 カワサキミュージックキャスト 創設 「I n U n i t y」 ステージ運営補助 (～平成30年)
平成23年	カワサキミュージックバトル ステージ運営 (～平成30年) はいさいFEST A ステージ運営
平成26年	医大モールまつり ステージ運営 川崎市制90周年記念表彰 奨励賞受賞
平成27年	たまアトリウムコンサート (～平成30年) 生田緑地★星空コンサート (～平成28年)
平成28年	川崎国際音楽祭 かわさき区ビオラコンサート (～平成30年)
平成29年	中野島音楽祭 ステージ運営 中原区役所コンサート (～平成30年) B u yかわさきフェスティバル かわさきジャズ2017
平成30年	アジア交流音楽祭2018 生田緑地ばら苑60周年コンサート
【推薦者】 中原区役所 まちづくり推進部	

平成30年度 川崎市文化賞等選考委員(敬称略・五十音順)

	氏 名	分 野	所 属
1	赤塚 光子	社会福祉	元立教大学教授
2	伊東 文生	保健衛生	聖マリアンナ医科大学教授
3	大仁田 雅彦	芸術 (演劇)	昭和音楽大学教授
4	川崎 一泰	産業経済	東洋大学教授
5	久保田 昌希	学術 (歴史学)	駒澤大学教授
6	田中 純子	芸術 (音楽)	洗足学園音楽大学名誉教授
7	角田 光広	スポーツ	テレビ神奈川報道制作局次長 兼スポーツ部長
8	林 容子	芸術 (美術)	尚美学園大学・大学院 芸術情報研究科准教授
9	福富 忠和	学術 (デジタルメディア)	専修大学教授
10	加藤 順一	行政	副市長
11	鈴木 賢二	行政	市民文化局長
12	小椋 信也	行政	教育次長

平成30年度川崎市文化賞等贈呈式について

- 1 日 時 平成30年11月2日（金）
14：00～15：00
（祝賀会 15：00～16：00）
- 2 会 場 川崎市国際交流センター
川崎市中原区本月祇園町2-2
電話044-435-7000（代）
- 3 式次第 開式
川崎市文化賞等贈呈
主催者あいさつ
来賓代表あいさつ
受賞者代表あいさつ
閉式

川崎市文化賞等実施要綱

(目的)

第1条 川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

(名称)

第2条 川崎市文化賞等の名称は、次の各号のとおりとする。

- (1) 川崎市文化賞
- (2) 川崎市社会功労賞
- (3) 川崎市スポーツ賞
- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

(主催)

第3条 川崎市文化賞等の主催は、川崎市とする。

(対象分野等)

第4条 川崎市文化賞等の対象となる分野、推薦基準等については、別表のとおりとする。

(候補者の推薦)

第5条 川崎市文化賞等に係る受賞の対象となる候補者については、次の各号に定めるものの推薦による。

- (1) 市内の関係機関及び団体
- (2) 本市における部及び室

(受賞者の決定)

第6条 川崎市文化賞等に係る受賞者は、前条に規定する団体等の推薦に基づき川崎市文化賞等選考委員会（以下「選考委員会」という。）の議を経て、市長が決定する。

(表彰)

第7条 第6条の規定により、決定した者について、賞状及び副賞を贈呈し、これを表彰する。

(特別賞)

第8条 市長は、この要綱に定めるもののほか、特に顕著な活躍をし、功績があった個人又は団体に対し、選考委員会の議を経ずに特別賞を贈呈することができる。

(庶務)

第9条 川崎市文化賞等贈呈に関する庶務は、市民文化局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成3年7月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年5月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年9月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

No. 1

	分野	内容	推薦基準
文化賞	教育	教育研究、教育実践	1 個人 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、川崎市における文化の向上、発展に尽力し、また貢献し、とくにその功績顕著な者。 2 団体 概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおりて川崎市における文化の向上、発展にとくに貢献した団体。
	学術	人文科学、社会科学、自然科学	
	芸術	絵画、彫刻、版画、写真、音楽、演劇、文芸、芸能など	
	文化活動	国際文化交流、地域文化の創造、普及及び振興、文化財の発掘、調査、保存及び継承など	
社会功労賞	社会福祉	児童、母子、老人、身体障害者、及び知的障害者などの福祉活動	1 個人 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおりて川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した者。 2 団体 概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおりて川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した団体。
	保健衛生	保健衛生、医療	
	産業・経済	産業、経済の振興と社会への貢献	
	地域振興	地域社会の発展、交流及び連携の促進、自然環境の保全、回復育成など	
スポーツ賞	スポーツ実践	大会等の記録、成績	1 国際大会に入賞した個人又は団体。(注1,2参照) 2 国内大会に2年連続優勝又はこれに準じた成績を残した個人又は団体。(注1,2参照) 3 競技人口が多く、レベルの高い国内大会に優勝又はこれに準じた成績を残した個人又は団体。(注1参照) 4 日本新記録など特に優秀な記録を残した個人又は団体。(注1参照) 5 スポーツ向上に貢献した功績が顕著な者。(注1参照) (注1) ここでいう「個人又は団体」とは、川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人又は団体をいう。 (注2) 対象となる大会は、次のとおりとする。 ア 国際大会 オリンピック、世界選手権大会(ワールドカップ)、アジア大会、ユニバーシアード、パラリンピック、フェスピックその他これに準じた大会 イ 国内大会 日本選手権大会、全日本学生選手権大会、全国高校総合体育大会、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、その他これに準じた大会

	分野	内容	推薦基準
スポーツ賞	スポーツ 振興	スポーツの普及、振興	<p>1 個人 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね 10 年以上の活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体 概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
アゼリア輝賞 <small>かなやま</small>	文化 芸術	学 術 音 楽 美 術 文 学 演 劇 写 真 舞 踊 スポーツ等	<p>1 若年層及び中堅層の個人又は団体</p> <p>(1) 個展・演奏会・公演・講演等の活動において現在活躍中の若年層及び中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体。</p> <p>(2) 川崎らしい特色ある活動をしている個人又は団体、特定の分野における抜群の成果を収めた個人又は団体。</p> <p>(3) 各部門においてその年に顕著な業績をあげ、広く市民に希望と感動をもたらした個人又は団体。</p>

川崎市文化賞等をこれまでに受賞された方々(敬称略)

No. 1

昭和47年度(第1回)		昭和56年度(第10回)		昭和63年度(第17回)	
安藤 英輔 (研究活動)	奥田 千秋 (保健衛生)	井上 房江 (保健衛生)			
石川 八代次 (教育実践)	芹澤 忠蔵 (社会福祉)	竹田 道太郎 (芸術)			
伊藤 六郎兵衛 (郷土史研究)	野本 琢 (社寺建築)	土方 恵治 (教育)			
大古 誠司 (スポーツ実践)	藤子不二雄 (児童漫画)	水原 春郎 (地域医療)			
川崎市民交響楽団 (音楽)	京浜協同劇団 (地域文化)	三井 春富 (文化交流)			
斉藤 茂 (美術)		幸の会 (社会福祉)			
中原 誠 (一般文化)					
昭和48年度(第2回)		昭和57年度(第11回)		平成元年度(第18回)	
圓鍔 勝二[勝三] (美術)	高野 榮 (障害者福祉)	内海 榮一郎 (地域医療)			
笠井 儀郎 (スポーツ実践)	田邊 秀治 (社会福祉)	奥田 良三 (芸術)			
庄野 潤三 (文芸)	松原 秀耕 (文化復興)	柏木 武司 (社会福祉)			
高島 松柏 (教育実践)	山田 太一 (文芸)	亀ヶ谷 利男 (文化財保護)			
日本鋼管株式会社硬式野球部 (スポーツ実践)	川崎古式消防纏保存会 (文化財保護)	手塚 彌太郎 (産業振興)			
	川崎青年会議所・高津青年会議 (地域文化)	野谷 博司 (教育)			
昭和49年度(第3回)		昭和58年度(第12回)		平成2年度(第19回)	
太田 清一 (保健衛生)	嘉重 きよ (社会福祉)	東芝女子バスケットボール部 (スポーツ実践)			
小笠原 洪一 (スポーツ実践)	古尾谷 盛太郎 (地域文化)				
金子 直蔵 (社会福祉)	前田 徳尚 (保健衛生)	石川 幾蔵 (地域文化)			
山室 静 (文芸)	森 爽海 (教育)	一ノ瀬 志郎 (保健衛生)			
結城 正雄[天童] (美術)	川崎市歯科医師会心身障害児 (社会福祉)	小川 信夫 (教育)			
	歯科治療協力医グループ	小黒 恵子 (芸術)			
川嶋 廣吉 (保健衛生)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	小西 乾太郎 (文化復興)			
齋藤 壽一 (絵画)	川崎野球部<通信制>	濱田 靖一 (学術)			
島田 きみ (社会福祉)	人形劇団ひとみ座 (演劇)	さざなみ会 (社会福祉)			
藤田 親昌 (文化復興)		法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)			
松尾 興助 (社会教育)		アメリカンフットボール部			
昭和50年度(第4回)		昭和59年度(第13回)		平成3年度(第20回)	
川嶋 廣吉 (保健衛生)	石川 芳松 (文化財保護)				
齋藤 壽一 (絵画)	磯野 和久 (保健衛生)				
島田 きみ (社会福祉)	臼田 吉男 (保健衛生)	文化賞	井上 和賀雄 (教育)		
藤田 親昌 (文化復興)	小野寺 章彦 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)		
松尾 興助 (社会教育)	柏倉 政男 (社会福祉)		日本電気玉川吹奏楽団 (芸術)		
	小林 英男 (地域文化)	社会功労賞	安藤 武次 (社会福祉)		
	長江 録弥 (芸術)		松田 文太郎 (保健衛生)		
	前田 豊子 (教育)		三木 齊 (産業経済)		
	法政大学第二高等学校バレーボール部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	山田 敬蔵 (スポーツ振興)		
			東芝野球部 (スポーツ実践)		
			富士電機女子バレーボール部 (スポーツ実践)		
昭和51年度(第5回)		昭和60年度(第14回)		平成4年度(第21回)	
大山 義隆 (保健衛生)	井田 潔 (保健衛生)				
國枝 慶一 (社会福祉)	岡 時義 (社会福祉)	文化賞	洪谷 益左右 (文化活動)		
久保 常晴 (学術)	栗田 正文 (保健衛生)		杉山 康彦 (学術)		
濱田 庄司 (美術)	馬場 あき子 (芸術)		谷川 健一 (学術)		
まど・みちお (文学)	坂東 忠彦 (教育)		萩坂 桃彦 (芸術)		
多摩芸術学園「わが町一溝の口」(演劇)	米山 市郎 (地域文化)		東芝科学館 (文化活動)		
構成・出演者一同	禰宜舞保存会 (文化財保護)	社会功労賞	市川 ハル (社会福祉)		
	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		鈴木 清次 (地域振興)		
	フェンシング部		渡邊 嘉造伊 (保健衛生)		
昭和52年度(第6回)		昭和61年度(第15回)		平成5年度(第22回)	
高橋 憲太郎 (文化復興)	小田切 純一 (医療)				
馬來田 善孝 (美術)	小林 明治 (障害者福祉)	スポーツ賞	NKKバスケットボール部 (スポーツ実践)		
宮田 多良喜 (スポーツ振興)	白井 禄郎 (教育実践)				
川崎沖縄芸能研究会 (文化財保護)	田中 岑 (芸術)	文化賞	岩谷 隆存 (教育)		
	沼田 稲次郎 (教育実践)		古江 亮仁 (文化財保護)		
	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞	村上 直 (学術)		
	川崎<通信制>卓球部		近藤 正夫 (保健衛生)		
	水車の会 (社会福祉)	スポーツ賞	川崎信用金庫 (地域振興)		
昭和53年度(第7回)		昭和62年度(第16回)		平成6年度(第23回)	
麻生 三郎 (美術)	猪熊 和吉 (地域文化)				
渡辺 三郎 (保健衛生)	西郷 信綱 (学術)	文化賞	飯嶋 和夫 (教育)		
市川 昇 (文化復興)	鈴木 正 (教育)		湯上 二郎 (教育)		
小向・菅・初山の獅子舞保存会 (文化財保護)	中野 一雄 (スポーツ振興)		小澤 征爾 (芸術)		
河上 徹太郎 (文芸)	二階堂 龍夫 (芸術)	社会功労賞	高士 利男 (保健衛生)		
東芝野球部 (スポーツ実践)	古沢 妙 (社会福祉)		中島 忠三 (地域振興)		
中山 貞治 (社会福祉)	馬嶋 正雄 (保健衛生)		李 仁夏 (社会福祉)		
	梓の会 (社会福祉)				
昭和54年度(第8回)					
青江 舜二郎 (演劇)					
石井 展子 (社会福祉)					
齋藤 武雄 (スポーツ振興)					
田中 利三 (保健衛生)					
箕輪 敏行 (社会教育)					
新城郷土芸能保存会 (文化財保護)					
昭和55年度(第9回)					
岡 信孝 (芸術)					
鈴木 弘治 (保健衛生)					
松井 浩正 (スポーツ振興)					
持田 春吉 (社会教育)					
横山 央 (社会福祉)					
川崎少年少女合唱団 (地域文化)					

平成6年度(第23回)(続き)		平成13年度(第30回)(続き)		平成20年度(第37回)	
社会功労賞	近藤 俊朗 (社会福祉) 原 泰造 (社会福祉)	社会功労賞	壁 義彰 (社会福祉) 窪田 敏昭 (保健衛生) 小峯 利一 (産業経済)	文化賞	与 勇輝 (芸術) 佐藤 忠男 (芸術)
スポーツ賞	高橋 三代子 (スポーツ実践) 神奈川県立住吉高等学校 (スポーツ実践) フューチャング部LANCERS			社会功労賞	宮川 政久 (保健衛生) 和田 義盛 (地域振興)
平成7年度(第24回)		平成14年度(第31回)		平成21年度(第38回)	
文化賞	小川 一朗 (学術) 久保 陽子&弘中 孝 (芸術) 岡本 喜八 (芸術)	文化賞	中島 豪一 (文化活動) 民具製作技術保存会 (文化活動)	スポーツ賞	川崎市立橋高等学校 (スポーツ実践) バレーボール部 富士通女子バスケットボール部 (スポーツ実践)
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉) 田中 忠一 (保健衛生) 高橋 隆天 (地域振興)	社会功労賞	芽の字会 (社会福祉) 松尾 成久 (保健衛生) 持田 俊夫 (産業経済)	アゼリア輝賞	大矢 高弓 (芸術(美術)) 廣田 美穂 (芸術(音楽))
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉) 田中 忠一 (保健衛生) 高橋 隆天 (地域振興)	平成15年度(第32回)		国際貢献特別賞	中込 璋 (平和活動)
スポーツ賞	隆三杉 太一 (スポーツ実践) 成田 真由美 (スポーツ実践)	文化賞	神奈川県立多摩高等学校 (芸術) 合唱部 齋藤 文夫 (文化活動)	文化賞	加古 里子 (芸術) 佐藤 征一郎 (芸術)
平成8年度(第25回)		社会功労賞	大谷 金一 (社会福祉) 栗山 覚 (保健衛生) 吉野 辰男 (地域振興)	社会功労賞	金子 忠雄 (社会福祉) 久保木 弘 (保健衛生)
文化賞	碓井 正久 (教育) 麻生フルハーモニー管弦楽団 (芸術) 齋間 萬 (文化活動) 中川 竹泰 (文化活動)	スポーツ賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践) 加藤 時太郎 (スポーツ振興)	スポーツ賞	朝日 健太郎 (スポーツ実践) 左澤 重明 (スポーツ振興)
社会功労賞	馬嶋 喜多子 (社会福祉) 鈴木 正一 (保健衛生) 日本アイ・ピー・エム株式会社 (地域振興) 川崎事業所	アゼリア輝賞	大平 貴之 (文化(天文)) 秦 江里奈 (芸術(音楽))	アゼリア輝賞	大類 朋美 (芸術(音楽)) 真飛 聖 (芸術(演劇))
スポーツ賞	三菱自動車川崎硬式野球部 (スポーツ実践)	平成16年度(第33回)		平成22年度(第39回)	
平成9年度(第26回)		文化賞	原田 尚彦 (学術) 大矢 紀 (絵画) 角田 益信 (郷土史)	文化賞	藤嶋 昭 (学術・教育) 白鳥 あかね (芸術(映画))
文化賞	篠原 一 (教育) 東芝ラドオノ・ジャズ・オーケストラ (芸術) 今村 昌平 (芸術) 無羅多 正建 (文化活動)	社会功労賞	白野 明 (社会福祉) かわさき自然調査団 (地域振興)	社会功労賞	大山 泰弘 (社会福祉・産業経済) 太田 正治 (保健衛生) 中山 茂 (産業経済・地域振興)
社会功労賞	小川 玉子 (社会福祉) 田辺 誠 (保健衛生)	スポーツ賞	目黒 友薫 (フェンシング) 李 相日 (映画(監督)) 三瓶 将廣 (バイクモトクロス)	スポーツ賞	車 耕作 (スポーツ振興) 小林 政高 (芸術(音楽)) 光岡 暁恵 (芸術(音楽)) 東芝野球部 (スポーツ実践)
スポーツ賞	上野 富夫 (スポーツ振興)	平成17年度(第34回)		スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)
平成10年度(第27回)		文化賞	横山 榮二 (環境保全) 鶴澤 久 (能楽)	文化賞	川島 永嗣 (スポーツ実践) 稲本 潤一 (スポーツ実践) 中村 憲剛 (スポーツ実践) 中村 俊輔 (スポーツ実践) 森本 貴幸 (スポーツ実践) 鄭 大世 (スポーツ実践)
文化賞	芳賀 周一郎 (教育) 藤村 志保 (芸術) 細山郷土資料館 (文化活動)	社会功労賞	安藤 國男 (障害者福祉) 斉藤 二郎 (地域福祉) 田中 辰彦 (地域医療)	スポーツ賞	中田 大輔 (トランポリン)
社会功労賞	林 壽男 (社会福祉) 田山 四郎 (保健衛生) 福嶋 三郎 (産業経済)	アゼリア輝賞	神谷 百子 (芸術(音楽)) 松下 京介 (芸術(音楽))	文化賞	青木 信雄 (教育) 井口 衛 (教育) 高野 映子 (文化活動)
スポーツ賞	佐々木 竹見 (スポーツ実践) 日野原 守 (スポーツ振興)	スポーツ特別賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践) 東芝ブレイブサンダース (スポーツ実践)	社会功労賞	朗読ボランティアグループ「さんざし」 (社会福祉) 小島 春男 (地域振興) (財)川崎市国際交流協会 (地域振興) 日本語講座ボランティア 音楽特別賞 後藤 正孝 (ピアノ)
平成11年度(第28回)		平成18年度(第35回)		スポーツ特別賞	宇津木 瑠美 (スポーツ実践)
文化賞	杉本 長治 (教育) 三輪 晃久 (芸術)	文化賞	小川 典子 (ピアノ) 小池 汪 (写真) 藤田 朝也 (演劇)	平成24年度(第41回)	
社会功労賞	電機連合神奈川県地方協議会 (社会福祉) 池田 宏 (保健衛生) 栗原 福蔵 (産業経済) 間島 快子 (地域振興)	社会功労賞	奥村 栄 (社会福祉) 杉浦 芳子 (地域医療)	文化賞	江頭 秀夫 (文化活動) 和田 あき子 (文化活動)
スポーツ賞	伊東 浩司 (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	後藤 正孝 (芸術(音楽)) 平原 綾香 (芸術(音楽))	社会功労賞	萩原 保夫 (社会福祉) 間瀬 実 (保健衛生)
平成12年度(第29回)		スポーツ特別賞	富士通アリアソフトボール部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	専修大学体育会サッカー部 (スポーツ実践)
文化賞	篠田 卓夫 (教育) 渡辺 豊重 (芸術) 吉田 喜重 (文化活動)	平成19年度(第36回)		アゼリア輝賞	垣内 悠希 (芸術(音楽)) 毛利 文香 (芸術(音楽))
社会功労賞	小林 五代子 (社会福祉) 工藤 昭 (産業経済)	社会功労賞	石井 哲夫 (社会福祉) 小泉 一郎 (産業経済)	スポーツ特別賞	市立橋高等学校女子バレーボール部 (スポーツ実践) 立石 諒 (スポーツ実践)
スポーツ賞	東芝男子バスケットボール部 (スポーツ実践) 伊丹 寅吉 (スポーツ振興)	スポーツ賞	法政大学アリアソフトボール部 (スポーツ実践) 春日山部屋 (スポーツ振興)	平成25年度(第42回)	
平成13年度(第30回)		アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術(音楽)) 成海 璃子 (芸術(演劇))	文化賞	(公財)東京交響楽団 (芸術)
文化賞	森久保 安美 (教育) 名渡山 兼一 (文化活動) 上田 恒三 (文化活動)	スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)	社会功労賞	高橋 章 (保健衛生) 都倉 正明 (産業・経済) 飯田 和子 (地域振興)

平成25年度(第42回)(続き)	
スポーツ賞	井端 弘和 (スポーツ実践) 柿生青少年柔道会 (スポーツ振興)
アゼリア輝賞	内田 けんじ (芸術(映画)) 昆 夏美 (芸術(音楽))
スポーツ特別賞	大久保 嘉人 (スポーツ実践) 東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)
平成26年度(第43回)	
文化賞	城谷 護 (文化活動) 寺尾 嘉剛 (文化活動) 奈良岡 朋子 (芸術) 炉端の会 (文化活動)
社会功労賞	井田 満夫 (保健衛生)
スポーツ賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)
アゼリア輝賞	細川 千尋 (芸術(音楽)) 三寺 郷美 (芸術(ダンス))
スポーツ特別賞	浜田 千穂 (スポーツ実践) 大久保 嘉人 (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)
平成27年(第44回)	
文化賞	大谷 康子 (芸術) 小原 孝 (芸術) 長島 保 (文化活動) 渡辺 賢二 (教育)
社会功労賞	新井 靖子 (社会福祉)
アゼリア輝賞	赤瀬 紗也香 (スポーツ実践) 渡邊 麗美 (スポーツ実践)
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践) 大久保 嘉人 (スポーツ実践)
平成28年(第45回)	
文化賞	河原 郁夫 (文化活動) 鈴木 穆 (文化活動) 深見 政則 (文化活動) 影向寺重要文化財・史跡保存会 (文化活動)
社会功労賞	渡邊 嘉久 (保健衛生)
スポーツ賞	川崎フロンターレ (スポーツ振興)
アゼリア輝賞	やまだ 豊 (芸術)
スポーツ特別賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践) 山口 貴久 (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践) 中村 憲剛 (スポーツ実践)
市民特別賞	成田 真由美
平成29年(第46回)	
文化賞	小倉 美恵子 (文化活動) 川崎市立坂戸小学校合唱団 (文化活動)
社会功労賞	高野 繁 (保健衛生)
スポーツ賞	川島 哲男 (スポーツ実践)
アゼリア輝賞	新井 卓 (芸術) 桑原 あい (芸術)
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践) ニック・ファジーカス (スポーツ実践) 川崎フロンターレ (スポーツ実践) 小林 悠 (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)

川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞・特別賞の経過について

川崎市文化賞等は、川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

1. 制定 昭和47年（第1回贈呈式 昭和47年11月3日）

- (1) 平成3年度第20回を契機に川崎市文化賞を「川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞」に改正
- (2) 平成15年度第32回に新たにアゼリア輝賞を新設
- (3) 平成17年度第34回に特別賞を新設

2. 賞の内容

- (1) 賞状
- (2) 副賞 文化賞・社会功労賞・スポーツ賞（30万円）
アゼリア輝賞（10万円）、特別賞（10万円）
- (3) 記念品
 - ・文化賞・社会功労賞・スポーツ賞については、渡辺豊重氏デザインによるガラス作品「Heart for You」
 - ・アゼリア輝賞・特別賞については、平山義氏デザインによるガラス作品「燦」
※制作は東京ガラス工芸研究所

3. 受賞者総数

(昭和47年から平成30年まで)	個人	294	(特別賞を含む)
	団体	76	(特別賞を含む)
	計	370	

4. 分野別受賞者

() 内は団体（再掲）

文化賞		社会功労賞		スポーツ賞		アゼリア輝賞	
教育	30(1)	社会福祉	44(8)	実践	38(22)	学術	1
学術	10	保健衛生	43	振興	16(3)	音楽	16
芸術	54(9)	産業経済	9	合計	54(25)	美術	1
文化活動	51(14)	地域振興	13(4)			演劇	4
合計	145(24)	合計	109(12)			スポーツ	3
						その他	4(1)
						合計	29(1)

特別賞	
合計	33(14)

5. 平成30年度推薦依頼先 162件（大学・各種団体他）